

令和3年度 荒尾市新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業の実施状況及び効果の検証について

No	担当課	事業名	事業概要	事業期間		事業費(円)		事業の実績	事業の効果
				開始	完了		内交付金		
1	福祉課	移動困難者のワクチン接種会場輸送支援事業	医療機関での個別接種や集団接種会場への移動が困難な方に対して、接種会場へのタクシー料金の費用の一部を助成する。	R3.5	R4.3	980,220	744,220	ワクチン接種会場へのタクシーによる移動を支援し、1,581件の利用があった。	移動困難者に対して安心安全かつ確実なワクチン接種を促進することができた。
2	福祉課	荒尾市潮湯プレハブ網戸設置事業	荒尾市潮湯の憩いの場の利用時の換気による新型コロナウイルス感染症対策を徹底するため、網戸を設置する	R3.4	R3.5	38,940	19,940	部屋内窓用アルミサッシ網戸8枚、トイレ窓用アルミサッシ網戸1枚を設置した。	感染予防を図りながら介護予防事業(健康体操等)実施することができた。
3	生涯学習課	社会教育施設安全安心確保事業	社会教育施設及び社会体育施設に消毒薬や非接触型体温計等を設置する。	R3.4	R4.2	1,116,152	559,152	・運動公園施設入口に非接触型体温計と、自動消毒液を設置した。 ・公民館に飛沫防止用のパーテーションや非接触体温検知器消毒器を設置した。 ・屋外施設等に掲載する感染予防の張り紙を設置した。	施設の感染対策の徹底や施設利用者の協力もあり、施設利用者の感染やクラスターの発生はなかった。
4	生涯学習課	図書館パワーアップ事業	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、非接触型の図書館サービス(電子書籍)を導入する。図書館にアルコールディスペンサー、非接触型体温計等を設置する。	R3.12	R4.3	39,429,687	39,401,687	・図書館内に非接触型体温計・自動消毒機を設置した。 ・図書館で電子書籍サービスを導入した。	・施設の感染対策の徹底や施設利用者の協力もあり、クラスターの発生はなかった。 ・電子書籍は来館不要で貸出返却も非接触であることから感染防止にもつながったとともに、いつでもどこでも貸出返却できることから施設利用者の利便性の向上も図られた。また、小中学生の教育用タブレットでも電子書籍が簡単に閲覧できる仕組みを導入したことで児童生徒の読書活動の推進も図られている。
5	教育振興課	各種学校行事バス借上事業	生徒の3密状態を避けて移動するために、移動用のバスを例年分に1台増便して手配する。	R3.4	R3.12	223,920	223,920	中体連等のバス借上に係り、バスを増便して手配した。	密回避を推進し、感染症予防を推進することができた。
6	教育振興課	小学校施設改修費(コロナ)	3密を避けるために手洗い場の増設を行う。また、飛沫防止のため、和式トイレを洋式トイレに改修する。	R3.4	R4.3	2,043,000	1,429,000	手洗い場が不足しており使用中は密となっていた学校において、3密回避のために手洗い場の新設を行った。飛沫防止のため、一部の和式トイレを洋式トイレに改修した。	新型コロナウイルス感染症の感染が広がる中、学校内の感染リスクを減らす一助となった。
7	教育振興課	小中学校ICT環境整備事業	遠隔、オンライン学習等を支援するためのLTE通信、ソフトウェアライセンス等に関するもの	R3.4	R4.3	72,650,600	57,206,600	LTE通信及び授業支援システム、遠隔会議システムのソフトウェア整備によりGIGAスクール構想及びリモート授業を行うための環境整備を行った。	コロナ禍における臨時休校等の際には、導入した機器、ソフトウェア等を活用し、リモート授業等を実施することができた。
8	教育振興課	新型コロナ対策事業費	学校にて使用する衛生関連用品を購入する。学校関係者に新型コロナウイルス感染症罹患が発生した場合に学校施設の消毒を業者委託により行う。	R3.4	R4.3	11,765,018	7,533,018	各小中学校にパーテーションを約3,500台追加整備した。また、各小中学校からの要望に沿い、主に消毒液やオートソープディスペンサーなどの衛生用品及び体温計やパルスオキシメーターなどの備品を購入した。	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止につながった。また、所管する学校において、感染拡大事例もなく教育活動を行うことができた。

No	担当課	事業名	事業概要	事業期間		事業費(円)		事業の実績	事業の効果
				開始	完了		内交付金		
9	文化企画課	情報化対策推進事業	各部署執務室での密を避けるために、分散勤務スポットを設置する。	R3.4	R4.3	516,164	516,164	会議室で分散勤務を実施できる環境を整備するため、PC等を購入した。	分散勤務で活用することで、職員同士の接触を低減するとともに、効率的に業務を進めることができた。
10	文化企画課	荒尾総合文化センター分散勤務等環境整備事業	分散勤務やWeb会議等に使用する備品等の購入や、ネットワーク環境の整備を行う。	R3.6	R4.3	2,262,997	2,262,997	ネットワーク環境の設備のため、光回線の開通やLAN敷設を行った。また、分散勤務やWeb会議等に使用する備品として、ノートパソコン2台、スピーカーフォン2台、Webカメラ2台を購入した。	コロナ禍における新しい生活様式に対応したWeb会議等を行うことが可能になり、感染拡大防止策の強化を図ることができた。
11	防災安全課	消防団格納庫水道新設事業	消防団活動の際に、手指洗浄ができるよう水道を設置する。	R4.2	R4.3	3,080,000	3,080,000	格納庫の外に水道設備を設置した。	手洗い等による衛生面環境の向上があった。
12	財政課	市長公室換気扇取替事業	現在の換気扇では十分な換気ができていないため、既存換気扇より換気能力の高いものへの交換と新設取付工事を行う。	R3.5	R3.6	391,600	196,600	換気扇の取替及び増設(1台)を行った。	市長公室利用での集団感染は発生しなかった。
13	財政課	庁舎内新型コロナウイルス感染防止対策事業	市役所庁舎に非接触型検知器やCO2モニター等を整備する。	R3.5	R4.2	337,972	169,972	非接触式検温器の購入設置 CO2モニターの購入設置	庁舎入口への非接触式検温器の設置及び利用者の多い市長公室、会議室にCO2モニターを設置し、感染予防を行い、集団感染は発生しなかった。
14	総合政策課	おもやいたクシー運行事業	コロナ禍における市民の生活に関する移動手段を確保するため、新型コロナウイルス感染症防止対策を講じつつ、効率的な運行を実施するAIオンデマンドタクシー(おもやいたクシー)を運行する。	R3.4	R4.3	13,558,060	13,558,060	感染対策を行ったおもやいたクシーの運行に対する補助を実施し、事業期間中に延べ11,830人が利用した。	感染対策を行ったおもやいたクシーの運行に対する補助を実施し、市民の安心安全な移動を確保するとともに、交通事業者の支援を図った。
15	総合政策課	大学生等支援給付金支給事業	新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中においても、安定した学生生活が送れるよう大学生等に資金援助を行う。	R3.6	R3.10	25,271,568	25,271,568	新型コロナウイルス感染症の影響が長期化し、経済的にも影響を受けた大学生等のうち申請者840人に対して1人当たり30,000円の現金給付を行った。	対象者に対して迅速に現金給付を行うことで、アルバイト等が制限され収入が減少した大学生等の経済支援を図り、安定した学生生活に寄与した。
16	総合政策課	バスロケーションシステム設置補助事業	待合環境の改善を図り、コロナ禍で落ち込みが著しい公共交通の利用者増につなげるため、本市バス路線における発着点として最も利用者が多いあらおシティモールバス停に、バスロケーションシステムを設置する。	R3.6	R3.9	1,430,000	1,430,000	産交バスが、ゆめタウンシティモールバス停にバスロケーションシステムを設置したことに対し、補助金を交付した。	バスロケーションシステムが設置されたことで、運行状況の見える化を行い、公共交通の利便性向上を図った。
17	総合政策課	「頑張る高校生応援」公共交通利用促進事業	高校生世代への経済的支援及び感染対策として、キャッシュレス決済を普及拡大させ、また、コロナ禍において利用者が減少している公共交通機関の利用促進を行うため、交通系ICカードを配布する。	R3.5	R3.9	3,402,952	3,402,952	本市の高校生世代1,411人に対して、2,000円分(デビット500円分含む。)の交通ICカード「SUGOCA」を配布した。	交通ICカードを配布することで、公共交通の利用促進及びキャッシュレス化を推進した。
18	産業振興課	市内事業所ヒアリング調査事業	新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、市内の経済状況を把握し、今後の市の支援策を策定する基礎資料とするために調査事業を実施する。	R3.5	R3.8	578,073	289,073	新型コロナウイルス感染症の影響による市内事業所ヒアリング調査結果の作成 架電1,488件、回答500件、回答率33.6%	新型コロナウイルス感染症の市内事業所の業況や対策等の把握。それに伴い、新規で「市内飲食店向け無料出張PCR検査事業」を実施するほか、「あらおスマイルDELI事業」を継続して実施した。

No	担当課	事業名	事業概要	事業期間		事業費(円)		事業の実績	事業の効果
				開始	完了		内交付金		
19	産業振興課	オンデマンド動画による地元企業紹介業務事業	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により困難になっている地元企業の採用活動を支援し、地元就職につなげるため、地元企業による企業紹介動画を撮影する。また、オンラインの企業対求職者の交流会を実施する。	R3.5	R4.3	995,500	448,500	<p>【YouTube企業動画配信「荒尾市企業PRチャンネル」】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加企業数: 19社(市役所含む。) ・配信開始: R3.8.2~ ・視聴数: 開始1カ月で最大110回(企業による) ・周知: 市HPとリンク・チラシ配布・FMたんなど ・チラシ配布先: 市内全世帯(広報折込み)/熊本県北・福岡県南の高等学校/九州の主要な大学/職業訓練校等/市内の公共施設など <p>【荒尾市・大牟田市連携事業「地元企業と学校の情報交換会」】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日: R4.2.2 ・参加企業: 16社(荒尾市7社・大牟田市9社) ・参加学校: 10校(内1校はポリテクセンター) ・参加合計人数: 210(先生17・生徒193※目安) 	<p>【YouTube企業動画配信「荒尾市企業PRチャンネル」】</p> <p>多くの企業が動画撮影については初心者だったが、本事業により経験したことで、SNSで企業情報を発信するためのITリテラシー向上につながった。配信した動画についても、オンデマンドでいつでも誰でも視聴できるため、企業認知向上の大きな一歩となった。視聴数は、企業によっては1年間で1,000回を越えたところもある。</p> <p>【荒尾市・大牟田市連携事業「地元企業と学校の情報交換会」】</p> <p>オンラインにて企業と学校をつないでの情報交換会は初めての事業で、相互に緊張があったが、どこからでも自由に閲覧できるため、先生だけでなく生徒たちも参加しやすかった。名刺交換なども電子で行い、質問もできるようにしていたため、相互の関係づくりのきっかけとなった。</p>
20	産業振興課	雇用調整助成金等申請書作成サポート事業	雇用関係助成制度の利用促進のため、雇用関係助成制度の申請書の作成支援事業を補助する。	R3.4	R3.12	1,870,200	1,870,200	<p>申請サポート回数: 51回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雇用調整助成金 : 33回 ・緊急雇用安定助成金 : 17回 ・小学校休業対応助成金: 1回 <p>申請企業数: 17社</p>	<p>国における申請フォームの改善により申請方法が分かりやすくなったものの、特に零細企業や高齢者が経営する事業所からは、引き続きサポートに関する要望もあったところである。本事業により、スムーズに制度の活用ができたことから、雇止めなどの雇用に対する不安を解消できた。</p>
21	産業振興課	プレミアム付商品券発行支援事業	地域経済の活性化及びキャッシュレスの推進を図るため、補助率40%のデジタル媒体と補助率20%の紙媒体のプレミアム付商品券を発行する。	R3.4	R4.2	72,203,833	36,102,333	<p>【電子】</p> <p>発行総額: 1億4,000万円(プレミアム率40%) 発行冊数: 10,000口【完売】</p> <p>【紙】</p> <p>発行総額: 1億2,000万円(プレミアム率20%) 発行冊数: 10,000冊【完売】</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の影響によって疲弊した地域経済の回復を図るため、紙の商品券「荒尾地域振興券」とAraoPAYアプリによる「電子商品券」の2種類のプレミアム付商品券を発行した。換金率も電子99.93%、紙99.81%と、コロナ禍の地域における消費の喚起・下支えにつながった。</p>
22	産業振興課	バスツアー誘致拡大事業	本市を訪問するツアーの造成を促し、観光入込客数の増加を図るため、本市を訪問する団体バス旅行を実施する事業者に対し、補助を行う。	R3.8	R4.3	201,200	195,200	<p>補助金請求事業者: 1社 補助額: 12,000円</p>	<p>コロナ禍により、緊急事態宣言等もありバスツアーの利用者が減ったため補助金の活用も1社となった。その中でも、事業者がツアー造成の際に本市を訪問するきっかけとなった。</p>
23	産業振興課	マイクロツーリズム推進事業	市内観光スポットへの周遊を促し、各観光スポットの認知度向上及び市外からの来訪者増加につなげるため、県民等を対象に、市内施設の入場料補助券を配布するキャンペーンを実施する。	R3.6	R4.1	490,480	245,480	<p>【配付実績】</p> <p>万田坑ステーション165枚、まるごとあらお物産館184枚、宮崎兄弟資料館76枚</p> <p>【使用実績】</p> <p>233枚(グリーンランド・あらおキッズドーム)</p>	<p>配布した入場料補助券のうち、約半数の方が周遊され、グリーンランド・キッズドームを訪問する方にも市内施設を知ってもらった機会となった。一方で、利用者が想定に届かず、告知や制度のわかりやすさ等、市内周遊施策の課題を把握できた。</p>
24	産業振興課	宿泊支援事業	宿泊者の誘客促進により経済活性化を図るため、プレミアム付き宿泊チケットを発行する。	R3.12	R4.2	5,019,000	2,509,500	<p>【使用実績】</p> <p>HOTEL AZ熊本荒尾店301枚、のあそびodge12枚、ビジネスホテル五十鈴荘26枚、ホテルヴェルデ838枚、ホテルプランカ496枚(計1,673枚)</p>	<p>デジタルクーポンで販売することで営業日時を問わず販売ができ、2,000枚全て配布することができた。一人当たりの消費単価は15,513円と、一定の波及効果は生み出した。</p>

No	担当課	事業名	事業概要	事業期間		事業費(円)		事業の実績	事業の効果
				開始	完了		内交付金		
25	産業振興課	オンラインツアー事業	本市への関心や来訪意欲を喚起するための動画を作成する。加えて、市内消費拡大や地域経済の活性化を図るため、オンラインとリアルを絡めたイベントを実施する。	R3.7	R4.2	3,500,000	1,750,000	「夏」「秋」「グルメ」をテーマにした動画を制作し、YouTubeやSNSで配信した。また、制作した動画をオンラインで配信しながら観光PRを行うオンラインツアーを開催した(参加者30人)。	制作した動画はリアルでの商談会などでも放映しており、有効に活用できている。また、オンラインツアーについては、吉本興業所属の芸人にも参加してもらい、完売であった。
26	産業振興課	熊本県時短要請協力金事業	営業時間短縮等要請に協力した店舗に対し支給される県協力金のうち市で負担するもの	R3.4	R4.3	38,776,000	38,776,000	【第6波分】 店舗数:263件 交付金額:264,656,000円 市負担額:26,465,600円	飲食店における新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止しつつ、県協力金の一部を市が負担することで、市内飲食店の事業継続を支援した。
27	財政課	市施設の水道蛇口の自動水洗化・レバー式取り換え事業(補正予算)	市の施設に設置している水道蛇口の自動水洗化・レバー式への取替えを行う。	R3.5	R4.3	6,791,722	3,398,722	手洗水道蛇口の自動水栓化 水道蛇口のレバーハンドルへの交換	市の各施設において、集団感染は発生しなかった。
28	財政課	市施設の水道蛇口の自動水洗化・レバー式取り換え事業(当初予算)	市の施設に設置している水道蛇口の自動水洗化・レバー式への取替えを行う。	R3.8	R4.2	11,017,072	5,513,072	手洗水道蛇口の自動水栓化 水道蛇口のレバーハンドルへの交換	市の各施設において、集団感染は発生しなかった。
29	子育て支援課	ひとり親家庭等子どもの未来応援給付金事業	ひとり親家庭等の児童の修学の推進につなげるため、高校・大学等への進学・進級に当たり支援金を支給する。	R3.5	R4.3	7,350,000	7,350,000	高校・大学等への進学に当たり50,000円/人(118人)、進級に当たり10,000円/人(145人)を、保護者に支給した。	支給率は対象年齢児童333人の78.9%、目標児童数293人(高校生は全員、大学は半数が就学と仮定)に対し約90%が助成対象となり、児童の修学の推進に寄与した。
30	環境保全課	荒尾市斎場新型コロナウイルス感染防止対策事業	荒尾市斎場待合室の固定ガラスを、換気が可能になるように、引き違いサッシ・網戸に取り替える。	R3.8	R3.11	336,600	168,600	荒尾市斎場待合室の窓ガラスが固定ガラス(1枚ガラス)であったため引き違い窓に取り替えた。	室内の換気を十分行うことができたため、施設利用者及び施設従事者に感染することはなかった。
31	産業振興課	新たなナイトタイムコンテンツ造成事業	コロナ禍においても安心して楽しめるコンテンツの造成を図るため、荒尾市観光協会が実施するドライブインシアター事業に対し補助する。	R4.9	R4.2	1,524,990	1,475,990	11月20日・21日・22日で合計3タイトル上映 来場者数:43組・49組・49組(各日定員50組)	ほぼ定員に近い販売数となり、コロナ禍におけるナイトタイムコンテンツとしてのニーズに合った事業を実施することができた。一方、今後の事業展開に向けて、企画、運営、収支等での課題が明確となった。
32	くらしいきいき課	地域産業交流支援館衛生管理事業	地域産業交流支援館の利用者に新型コロナウイルス感染症の陽性者が出た場合に消毒を行う。また、非接触体温計や消毒液等を購入する。	R3.8	R4.3	411,675	411,675	・新型コロナウイルス感染症対策消毒委託料(みどり蒼生館) 163,680円 ・新型コロナウイルス感染症対策備品(メディア交流館・小岱工芸館・みどり蒼生館) 247,995円	対策備品を購入したことによって、新型コロナウイルス感染症拡大防止策に寄与した。
33	保険介護課	傷病給付金支給事業	加入している医療保険で傷病手当金の対象とならない、自営業者等が新型コロナウイルス感染症に感染した場合の休業や、事業縮小等に対する支援を行う。	R3.11	R4.3	210,000	210,000	傷病手当金の対象とならない個人事業主3名から申請があり、傷病給付金の支給を行った。 3名×70,000円=210,000円	新型コロナウイルス感染症に罹患し休業したことにより収入の減少があった自営業者等に対して、傷病給付金を支給することにより支援を行うことができた。

No	担当課	事業名	事業概要	事業期間		事業費(円)		事業の実績	事業の効果
				開始	完了		内交付金		
34	子育て支援課	子ども・子育て支援交付金	児童福祉施設等において、新型コロナウイルス感染症対策の徹底を図りながら、事業を継続的に実施していくために必要な経費の支援を行う。また、乳児家庭全戸訪問事業を実施するに当たり必要となる消毒液、マスク等を購入する。	R3.4	R4.3	8,028,104	2,678,104	病児保育事業(1施設)、ファミリー・サポート・センター事業(1施設)、地域子育て支援拠点事業(3施設)、一時預かり事業(3施設)、放課後児童健全育成事業(9単位)、延長保育事業(12施設)に対し、新型コロナウイルス感染症対策の徹底を図りながら、事業を実施していくためにかかる費用(物品購入費やかかり増し経費等)について、7,976,000円を補助した。また、市直営の事業(利用者支援事業、放課後児童健全育成事業(3単位))において、事業継続に必要な費用として、52,104円を支出した。	児童福祉施設等に対し、新型コロナウイルス感染症対策に必要な経費を補助することにより、子ども・子育て支援事業の継続実施を支援することができた。 また、直営の事業において、感染症対策のために必要な物品等の購入を行うことができ、コロナ禍においても、スムーズな事業の運営を行うことができた。
35	子育て支援課	保育対策事業費補助金	児童福祉施設等において、新型コロナウイルス感染症対策の徹底を図りながら、事業を継続的に実施していくために必要な経費の支援を行う。	R3.4	R4.3	5,699,986	2,850,986	保育所(私立7園)、小規模保育施設(1園)、幼保連携型認定こども園(3園)に対し、新型コロナウイルス感染症対策の徹底を図りながら、事業を実施していくためにかかる費用(物品購入費やかかり増し経費等)について、5,300,000円を補助した。また、公立保育所において、感染症対策の徹底を図りながら、事業を実施していくために必要な費用として、399,986円を支出した。	保育施設等に対し、新型コロナウイルス感染症対策に必要な経費を補助することで、流行期にあっても、保育施設等で児童の預かりを継続することができた。また、公立保育所において、感染症対策のために必要な物品等の購入を行うことができ、コロナ禍にあっても、保育所の運営継続を図ることができた。
36	教育振興課	小中学校ICT環境整備推進事業	ICT教育を推進するため、遠隔授業を展開しやすい備品を整備する。また、ICT支援員を配置する。	R3.4	R4.3	19,957,960	15,901,960	大型提示装置への映像中継する機器の整備やICT支援員の配備を行った。	コロナ禍における臨時休校等の際には、導入した機器、ソフトウェア等を活用し、リモート授業等を実施することができた。
37	教育振興課	学校臨時休業対策事業	小・中学校が休校になった場合、事業者に対して既に発注されていた臨時休業期間の学校給食食材のキャンセル等に要した費用について補助する。	R3.4	R4.3	284,785	284,785	市内小中学校(11件分)において学年・学級閉鎖時、学校給食がキャンセルとなった分の食材費(給食費)について支払った。	食材納入業者のキャンセル発生に伴う損失補填ができた。
38	会計課	コンビニエンスストア・スマートフォンアプリ収納代行業務導入事業	納付機会拡大による密集の回避及び接触機会の減少のため、コンビニ収納及びスマホアプリ収納を行う。	R3.11	R4.3	2,090,000	2,090,000	No. 51に記載	No. 51に記載
39	議会事務局	新型コロナウイルス対策事業(議会)	議場傍聴席入口に非接触自動検温器を設置する。	R4.1	R4.2	48,620	24,620	体温が高い傍聴者の入場を規制し、新型コロナ感染拡大を防止できた。	施設利用によるクラスターの発生はなかった。
40	教育振興課	修学旅行の日程変更等に関する事業	小学校において、修学旅行が延期や中止になったことで発生する追加の費用について補助する。	R4.1	R4.3	292,485	292,485	キャンセル料の保護者負担が発生しなかったため、負担軽減が図れた。	キャンセル発生後の速やかな支払いができた。
41	産業振興課	市内飲食店向け無料出張PCR検査事業	飲食店従業員向けに無料の出張PCR検査を実施する。	R3.11	R4.3	11,250,000	8,139,000	検査期間:12月1日から3月18日まで 延べ検査店舗数:206店舗 延べ検査者数:1,092人(内陽性者3人)	4か月の期間で延べ206店舗のPCR検査を行い、ほとんどの店舗で陰性を確認し、従業員もお客さんも安心して飲食店へ足を運んでもらうことができた。今回の検査を受けて、陽性となった店舗でも、早めにわかって対応してもらえてよかったという声をいただいた。

No	担当課	事業名	事業概要	事業期間		事業費(円)		事業の実績	事業の効果
				開始	完了		内交付金		
42	産業振興課	「あらおDEご飯」キャンペーン補助金事業	地域経済の活性化、市内飲食店の利用促進及びキャッシュレスの推進を図るため、アプリでチャージした際に40%のプレミアム分を付与する。	R3.11	R4.3	8,304,456	8,304,456	販売口数…3,516口 購入者数…1,375人 購入額…1,758万円 (プレミアム含む2,461万2,000円) 利用金額…2,034万4,992円 店舗数…60店舗 ※新型コロナウイルス感染拡大の為、2次販売中止 ※1月21日から3月6日までまん延防止等重点措置区域に指定されたため、店内利用を停止	事業期間(令和4年1月1日から3月21日まで)において、新型コロナウイルス感染者数が増加傾向になり、まん延防止等重点措置が適用されたため、返金や店内飲食した場合は利用不可等の対応が発生したが、デリバリー事業を並行して実施することで、ある程度電子商品券の返金を防ぎ、市内飲食店の利用促進が図れた。
43	税務課	新型コロナウイルス対策事業(税務課)	申告会場での感染拡大リスクを抑える。	R4.1	R4.2	59,070	30,070	カーボーイ 眼鏡型フェイスシールド 10セット入り FM-23 5箱 × 2,090円 = 10,450円(消費税込) 非接触自動検温器 てでびっと A192 1台 × 48,620円(税込) = 48,620円	確定申告会場におけるクラスターの発生はなかった。
44	総務課	消毒用回覧板配布事業	各自治会に消毒可能な回覧板を整備する。	R4.2	R4.3	1,214,400	1,214,400	自治会長、行政協力員等に対し、配布を行っている。	回覧板を消毒してもらうことにより、感染拡大防止に寄与した。
45	福祉課	敬老記念品支給事業	中止した敬老大会について、例年会場で配布していた記念品を、対象者宅に配送する。	R3.9	R3.11	183,150	183,150	米寿記念品370個を対象者宅に配送した。	記念品を配送したことにより、新型コロナウイルスの感染予防を図りながら米寿者へ記念品を配布することができた。
46	文化企画課	WEB会議室整備推進事業	Web会議の環境を強化することで、対面でのコミュニケーションを減らし、新型コロナ感染予防を行う。	R4.2	R4.3	1,334,550	1,334,550	Web環境を整備するためWeb会議室及び個人用作業スペースを整備した。また、大型テレビ、音響セット、モバイルルータ及びパーテーション等を購入した。	Web会議室稼働率98.5%(R4.4からR5.1まで)
47	会計課	荒尾市市税等コンビニエンスストア・スマートフォンアプリ収納代行業務	納付機会拡大による密集の回避及び接触機会の減少のため、コンビニ収納及びスマホアプリ収納を行う。	R3.4	R4.3	6,239,046	6,239,046	納付書での支払いのうち、コンビニ収納の利用率は33.6%、スマートフォンアプリ収納は4.6%であった。	金融機関や庁舎内のみならず、全国のコンビニ及びスマートフォンで支払いができることになったことで混雑の緩和につながった。
48	企業局	水道事業会計・下水道事業会計繰出(荒尾市市税等コンビニエンスストア・スマートフォンアプリ収納代行業務事業)	納付機会拡大による密集の回避及び接触機会の減少のため、コンビニ収納及びスマホアプリ収納を行う。	R3.4	R4.3	2,183,313	2,183,313	納付書での支払いのうち、コンビニ収納の利用率は48.7%、スマートフォンアプリ収納は6.8%であった。	金融機関や庁舎内のみならず、全国のコンビニ及びスマートフォンで支払いができることになったことで混雑の緩和につながった。
49	市民課	マイナ・アシスト購入事業	マイナンバーカードの申請時に職員と来庁者の接触時間を減らすための備品等を購入する。	R4.3	R4.3	3,393,240	3,393,240	マイナンバーカードの申請受付において、アクリル板越しの申請により感染対策が図られており、受付から約5分程度で申請が完了するため対応時間の削減及び3密の解消につながっている。	令和4年3月から稼働し、マイナンバーカードの申請率は、約48.0%から約69.3%(令和5年1月末)まで上昇した。
50	総務課	新型コロナウイルス対策事業(総務課)	働く女性の家にサーキュレータを設置する。	R4.2	R4.3	89,100	89,100	各部屋及び共用部分(廊下・階段)に18台を設置した。	サーキュレータを部屋だけではなく、共用部分の廊下や階段にも設置したことで、全館内の空気の流れをよくなり、常に換気を行っていたため感染防止対策に寄与した。

No	担当課	事業名	事業概要	事業期間		事業費(円)		事業の実績	事業の効果
				開始	完了	内交付金			
51	防災安全課	避難所対策事業	避難所における感染拡大の防止のため、避難者が安心して過ごせるよう、必要な物資を備蓄する。	R3.6	R4.3	3,882,670	3,567,670	多目的テントやサーマルカメラを避難所に配備した。	感染を不安に思い避難しない人がなく災害から被害を防ぐことができた。また、避難所において密を防ぎ感染拡大を防止できた。
52	福祉課	新型コロナウイルス対策事業(福祉課)	福祉課指定管理施設に消毒液・サーマルカメラ等を設置する。また、生活相談センター等に空気清浄機等を設置する。	R4.1	R4.3	1,602,390	1,602,390	感染対策として、福祉課指定管理施設に消毒液・サーマルカメラ等を設置し、また、生活相談センター等に空気清浄機等を設置した。	施設におけるクラスターの発生はなかった。
53	文化企画課	文化公共施設安全・安心確保事業	文化公共施設(文化センター・子ども科学館・宮崎兄弟生家・万田坑ステーション・万田炭鉱館)にサーマルカメラや自動消毒器を設置する。また、文化センターにソーシャルディスタンスシート等を設置する。	R4.1	R4.3	869,748	869,748	文化公共施設にサーマルカメラ7台、オートディスプレイ9台を設置した。また、文化センターにアクリルパーテーション2台、座席消毒器具3個、殺菌線消毒保管庫1台、ソーシャルディスタンスシート600枚を設置した。	施設にサーマルカメラ等感染予防対策の物品を充実させることで、利用者の感染リスクを下げる事ができた。
54	くらしいきいき課	地域少子化対策重点推進交付金	コロナ禍で経済的に苦しい若い世代が増える中、結婚に伴う新生活を経済的に支援(住宅取得費用・住宅賃借費用・引越費用)するための補助を行う。	R3.10	R4.3	3,715,000	1,239,000	夫婦ともに29歳以下の世帯6組計1,166,000円、夫婦ともに39歳以下の世帯4組計2,549,000円、計10組3,715,000円に補助金を交付。若年層で経済的不安がある方への補助を行った。	制度利用者10組
55	すこやか未来課	疾病予防対策事業費等補助金	転居時に市町村間で引き継がれる仕組みや、個人が一元的に確認できる仕組みを構築するため、ロタウイルス副本登録対応システムの改修を行う。	R3.6	R3.7	715,000	649,000	転居時に市町村間で個人が一元的に確認できる仕組みを構築するため、ロタウイルス副本登録対応システムの改修を行った。	システムを改修したことで、市民の窓口滞在時間が短縮され、感染対策を図ることができた。
56	すこやか未来課	疾病予防対策事業費等補助金	転居時に市町村間で引き継がれる仕組みや、個人が一元的に確認できる仕組みを構築するため、健康管理システムの改修を行う。	R4.2	R4.3	5,170,000	2,054,000	転居時に市町村間で個人が一元的に確認できる仕組みを構築するため、健康管理システムの改修を行った。	システムを改修したことで、市民の窓口滞在時間が短縮され、感染対策を図ることができた。
57	産業振興課	「あらおスマイルDELI」宅配推進支援事業	テイクアウトの促進を図り、飲食店の利用を支援するための補助事業を行う。また、宅配売上額の20%を次回使えるサービスチケットとして、利用者に還元する。	R4.1	R4.3	5,122,068	5,122,068	登録店舗数:35店 配達件数:3,515件 売上金額:15,485,286円 20%還元チケット発行額:1,988,029円	飲食店への時短要請等の影響を受け、来店者が減少する中、飲食業界の売上はかなり落ち込んだが、デリバリー販売を中心とする本事業を行うことで、売上の一助になったと思われる。また、市内事業者からの反響も良かった。
58	福祉課	地方消費者行政強化交付金	コロナ禍で消費者教育の普及・啓発の機会が減る中、消費生活相談窓口の機能強化を図る。	R3.5	R4.3	143,100	72,100	若年者への消費者教育のため、啓発グッズを作成し、市内の高等学校での出前講座や市内の成人式等で配布を行った。	消費者の感染者数0人 若年者のほか、高齢者団体へも、感染状況をみながら出前講座を行い、消費者トラブルの未然防止、早期の被害回復に寄与した。
59	福祉課	新型コロナウイルス感染症セーフティネット強化交付金	コロナ禍で経済的に苦しい人が増える中、生活保護に至る前の早期の段階から、自立・就労に向けた様々な支援サービスを総合的、一体的に提供するための相談体制を整える。	R3.4	R4.3	2,104,193	526,193	生活相談支援センターの支援相談員を1人加配し、相談体制を強化した。	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、生活に困窮する相談者の増加への対応が図られた。問合せ件数:R2(2,505件)→R3(2,603件)
60	産業振興課	オンラインツアー事業(インバウンド)	インバウンドの誘客に向けた取組として、中国及び豪州の旅行会社に対し、本市の観光コンテンツを紹介するオンライン商談会を行う。	R3.7	R3.11	440,000	220,000	オンライン商談会を3回実施。中国9社、香港7社、豪州7社に実施した。	商談会後のアンケート結果から、中国(商品造成興味あり2社、検討中6社)、香港(お客様に勧められるコンテンツあり7社)、豪州(商品造成興味あり3社、検討中2社)で本市に興味をもつ旅行者が増えた。